

外国人技能実習生制度

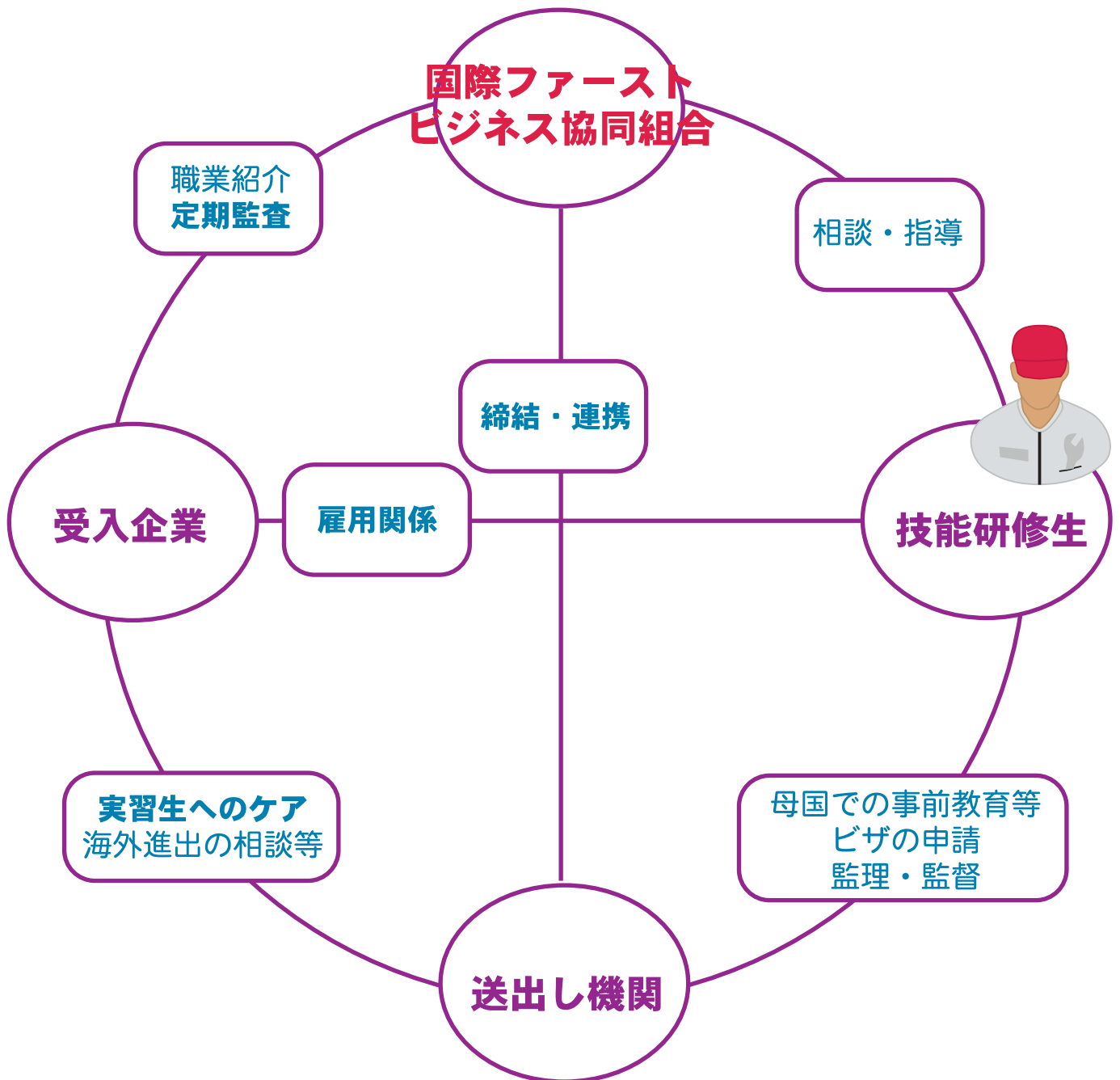
概要と活用方法について

令和2年度版

国際ファーストビジネス協同組合

外国人技能実習生受入のイメージ

国際ファーストビジネス協同組合 サポートシステム



外国人技能実習生受入の目的

目的 1

- 発展途上国の人材育成
先進国の技能・技術・知識
等の修得

目的 2

- 国際協力
- 国際貢献

Merit 3

- 母国において事業活動や
生産向上に役立てる

Merit 4

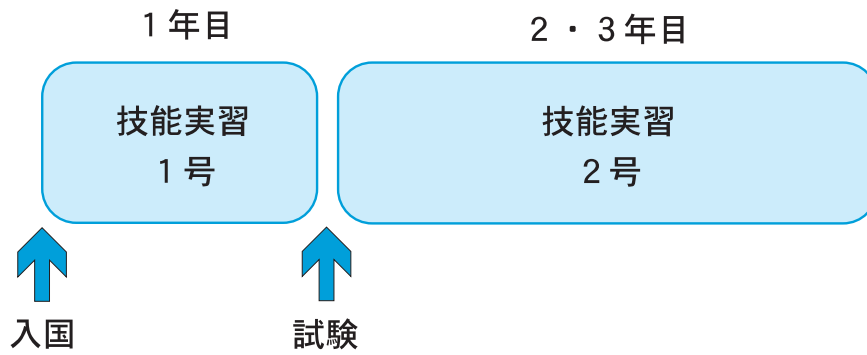
- 海外に目を向けた
長期的ビジョン
国際貢献・国際化

Merit 5

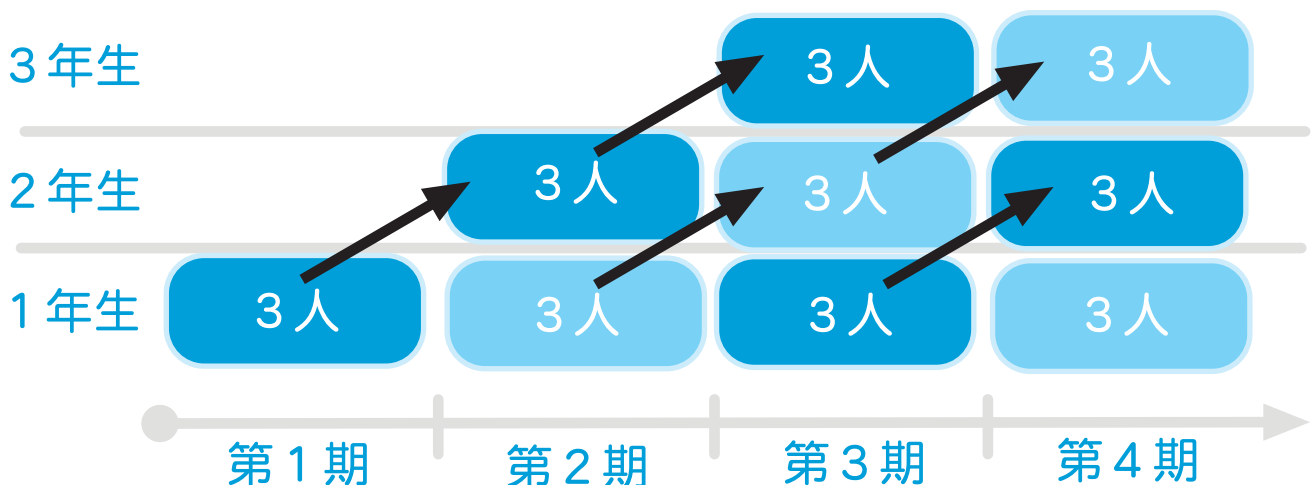
- 海外進出に向けた戦略

外国人技能実習生受入の概要

- ・ 受入手続は4～6ヶ月が必要です
- ・ 技能実習生は 6ヶ月～最大3年間 日本に在留出来ます
 - * 受入中に辞めたりすることはありません
 - * 若い労働力を確保できます
 - * 労働意欲が高い人材を確保できます
 - * 計画的に労働者計画が作れます
- ・ 企業によって受入れる人数が決められています



企業の常勤 雇用人数	301人 以上	201人～ 300人以下	101人～ 200人以下	51人～ 100人以下	3人～ 50人以下
受入可能 人数	全従業員 の5%	15人/年	10人/年	6人/年	3人/年



外国人技能実習生の 企業配属までの流れ



組合加入

・オリエンテーション

人選

・諸外国にて面接
・職業紹介

在留資格認定
証明書交付申請

・必要書類の作成
・入管取次ぎ

在留資格認定
証明書交付

・ビザの申請

技能実習生来日

・入国後1ヶ月の講習
(日本語等)

企業様配属

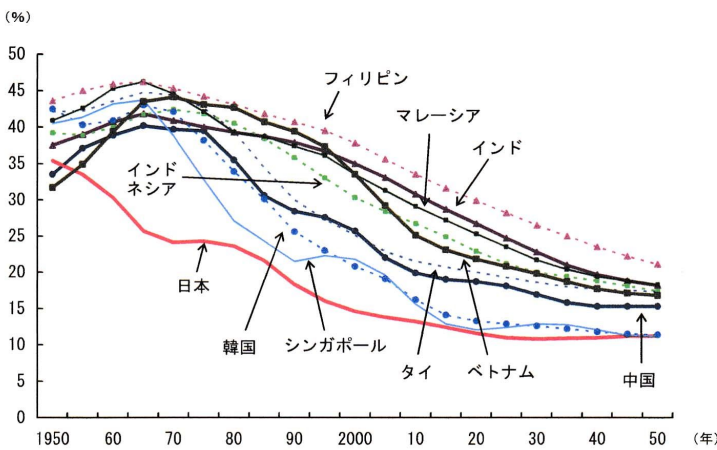
・技能実習生の実習開始

海外進出と長期ビジョン

- ・ 海外送出し機関との連携や海外取引の足掛かりが作れます。
- ・ 海外進出のリスク軽減と海外への親近感も持てます。
- ・ 海外での人材育成も可能です。
- ・ 日本の人口は 2050 年には 8,832 万人と減少する予測です。
- ・ 海外市場、特に東南アジアは著しい人口増が予想されます。

アジアの人口推移予想

第2-2-4図 15歳未満人口の割合：25%未満へ減少

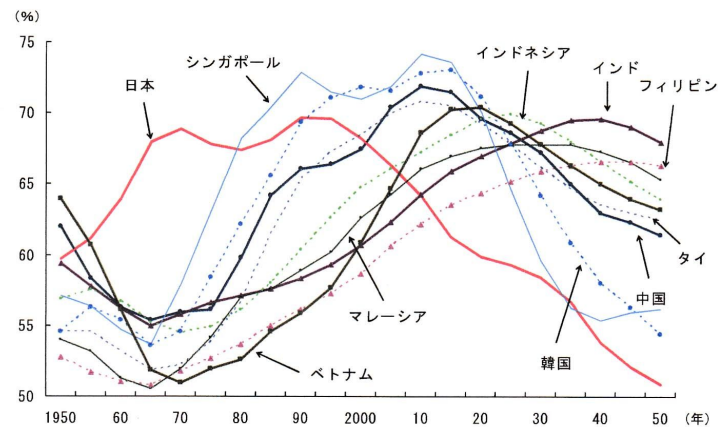


<2005年の15歳未満人口の割合>

(<2005年の15歳未満人口の割合>)				
中国	インド	インドネシア	日本	マレーシア
22.0	33.1	28.4	13.8	31.3
フィリピン	韓国	シンガポール	タイ	ベトナム
35.6	19.1	19.6	22.9	29.2

- (備考) 1. 国連人口推計より作成。
 2. 前提となる出生率は、長期的に1.85に収束。
 3. 国立社会保障・人口問題研究所によると、08年の日本の実績値は13.5%。

第2-2-6図 生産年齢人口の割合：増加から減少へ



- (備考) 1. 国連人口推計より作成。
 2. 前提となる出生率は、長期的に1.85に収束。